

秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第２６回）

日時：令和３年８月１１日（水）

午後３時３０分～

場所：第二庁舎４階 災害対策本部室

次 第

１ 開 会

２ 議 題

（１）新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について（資料１）

（２）感染拡大に伴う入院病床の確保について（資料２）

（３）感染警戒レベルの引き上げについて（資料３）

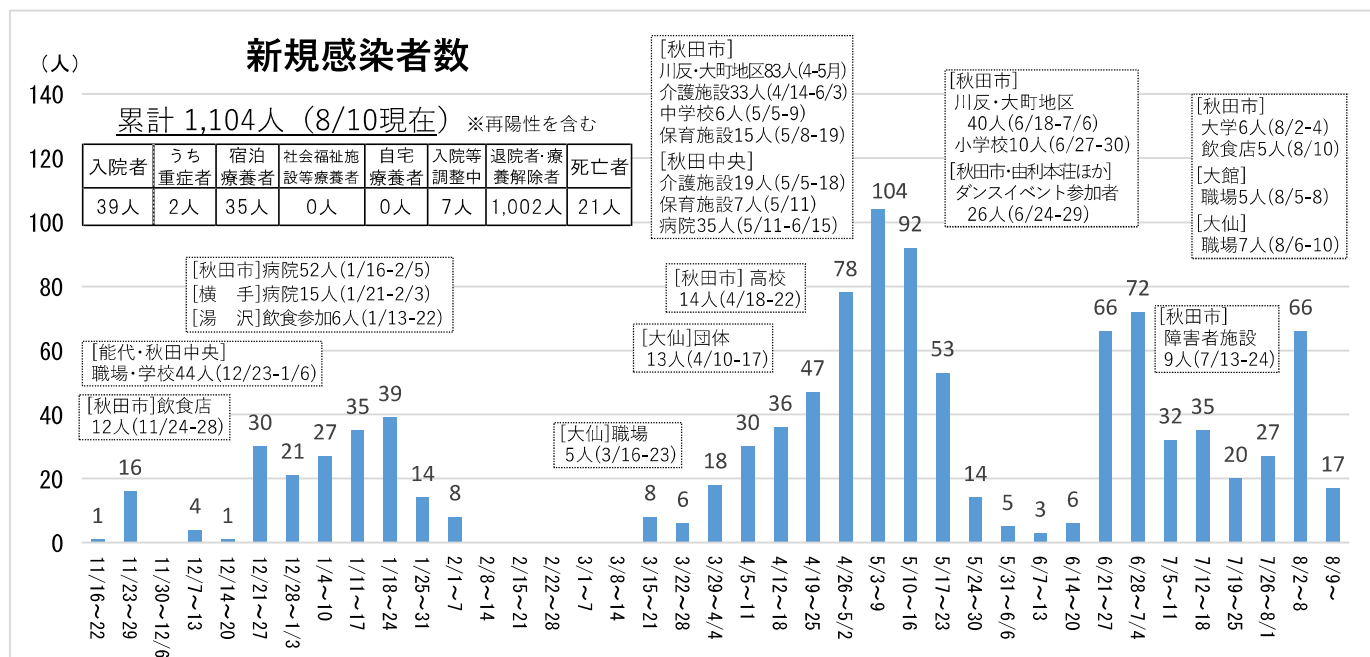
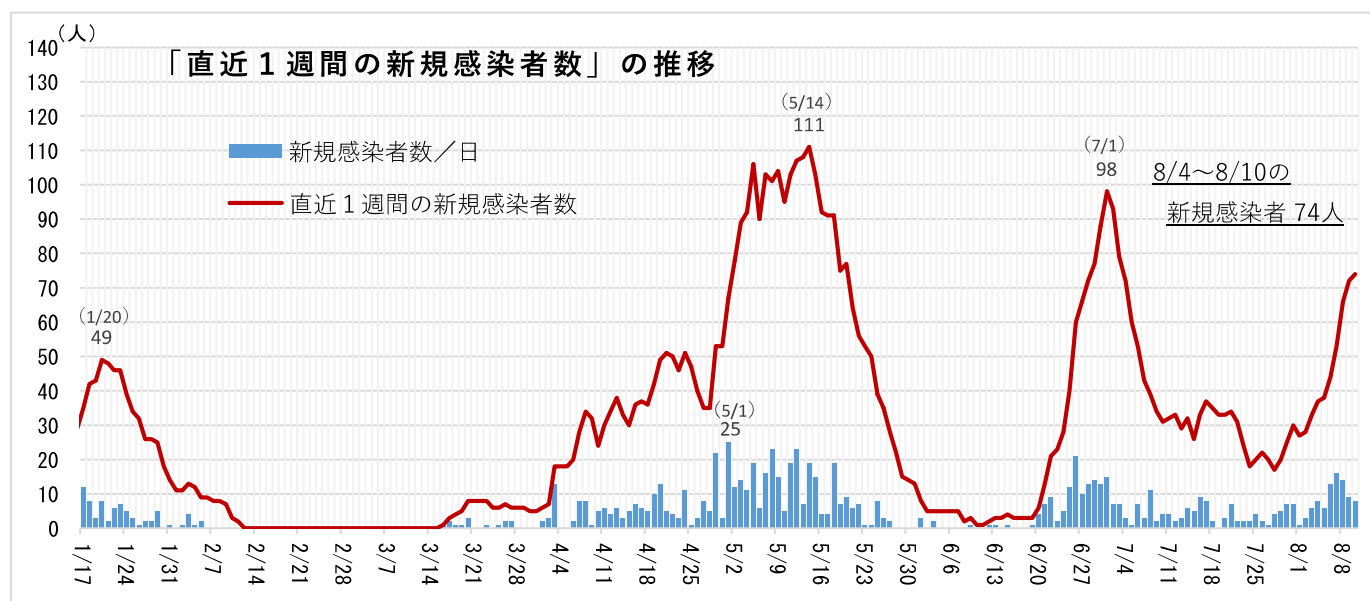
（４）新型コロナワクチンの接種について（資料４）

（５）その他

３ 知事指示

４ 閉 会

新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について

令和3年8月11日
健康福祉部※新規感染者数は公表日ベースで集計
※主な発生事例の[]内は保健所管内

変異株の状況

①変異株スクリーニング検査 (8月8日現在)

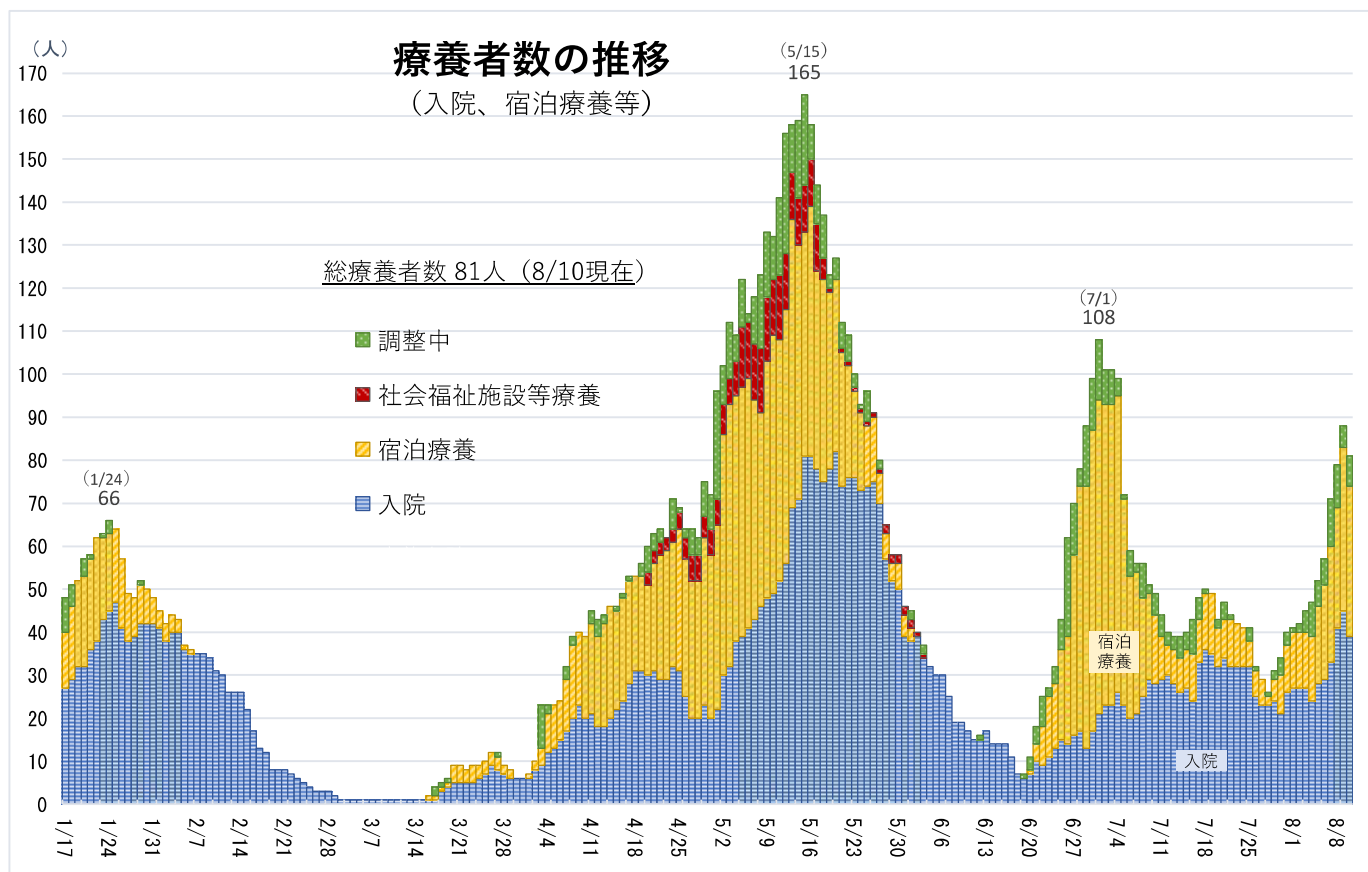
検査期間	N501Y変異		L452R変異	
	検査件数	うち陽性	検査件数	うち陽性
8/2~8/8	54	10	54	43
7/26~8/1	22	16	22	6
R3.2/22~7/25	560	256	167	2
合 計	636	282	243	51

②ゲノム解析 (8月10現在)

種類	件数	前回公表時 7/21からの 増加件数
アルファ株	72	13
デルタ株	5	4
不明	3	0
合 計	80	17

※①は県健康環境センター及び秋田市保健所、②は国立感染症研究所において実施。

※N501Y変異はアルファ株（英国で初めて検出）、L452R変異はデルタ株（インドで初めて検出）の特徴。



入院病床及び宿泊療養施設の使用状況 (8/10現在)

(人、床・室)

入 院 病 床					宿泊療養施設		
入院者数 (うち重症) ① (②)	現在の 確保病床数 (うち重症者用) ③ (④)	病床使用率 (重症者用べ-ス) ①/③ (②/④)	最大確保 想定病床数 (うち重症者用) ⑤ (⑥)	病床使用率 (重症者用べ-ス) ①/⑤ (②/⑥)	療養者数 ⑦	現在の 確保居室数 (収容人員数) ⑧ (⑨)	居室使用率 (収容人員べ-ス) ⑦/⑧ (⑦/⑨)
39 (2)	135 (13)	28.9% (15.4%)	230 (22)	17.0% (9.1%)	35	304 (387)	11.5% (9.0%)

注) 上記のほか、7人が入院・療養調整中

年代別 累計感染者数 (8/10現在)

(人)

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
44 (4%)	119 (11%)	221 (20%)	169 (15%)	154 (14%)	114 (10%)	105 (10%)	75 (7%)	103 (9%)	1,104 (100%)

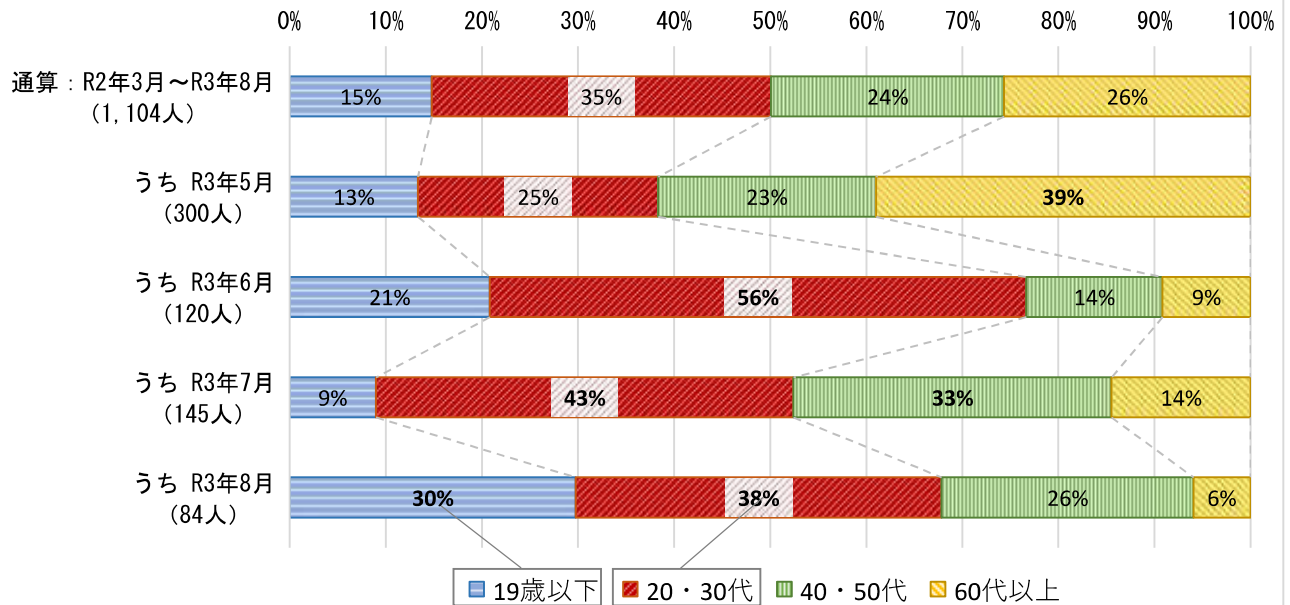
管轄保健所別 累計感染者数 (8/10現在)

(人)

大館	北秋田	能代	秋田中央	秋田市	由利本荘	大仙	横手	湯沢	計
29 (3%)	5 (0%)	55 (5%)	123 (11%)	703 (64%)	33 (3%)	92 (8%)	34 (3%)	30 (3%)	1,104 (100%)

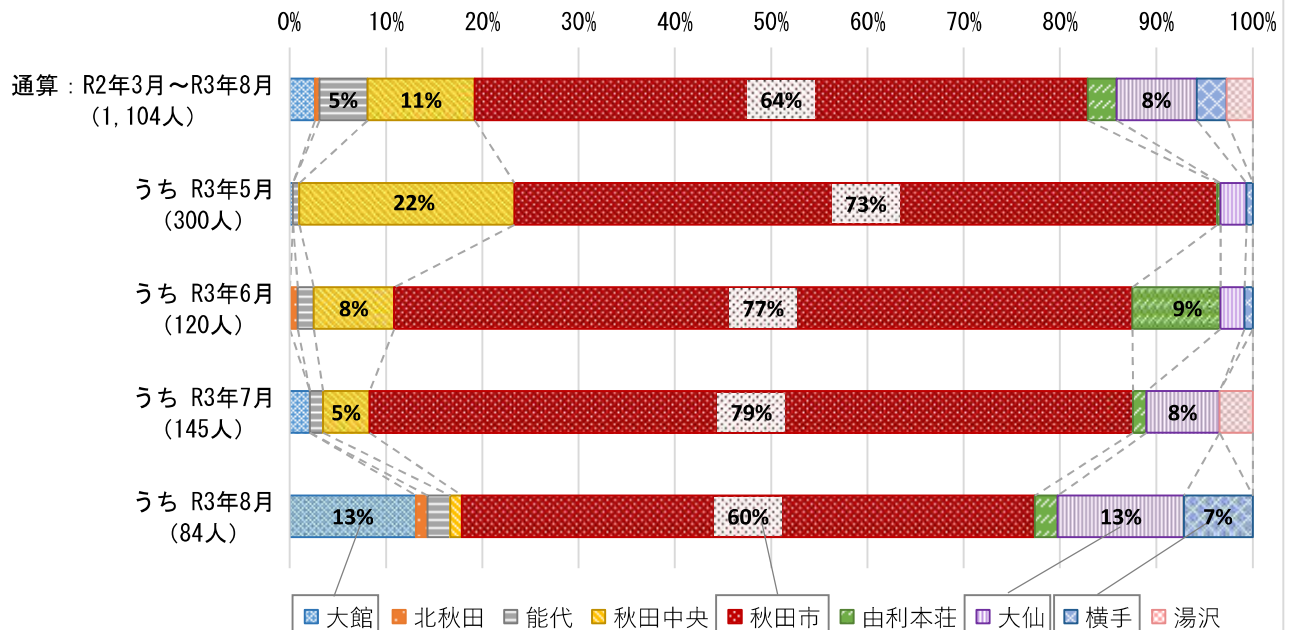
年代区分別感染者数の割合

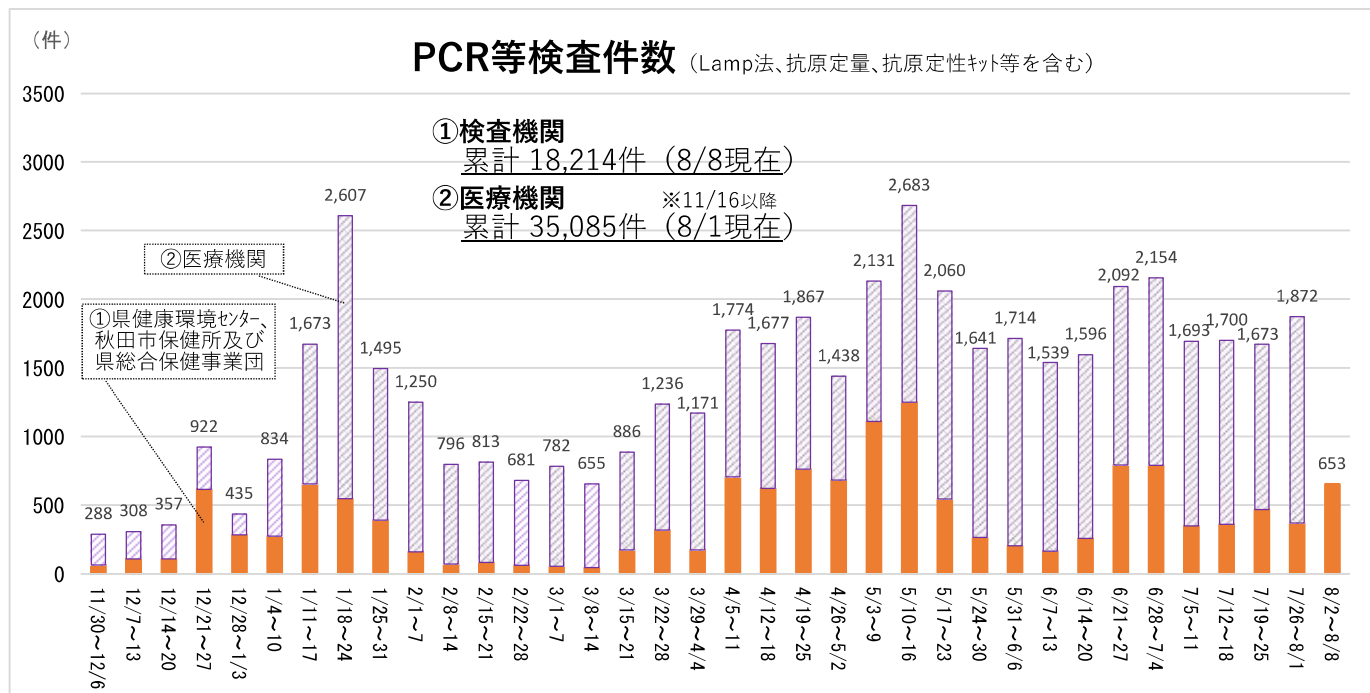
(R3年8月10日現在)



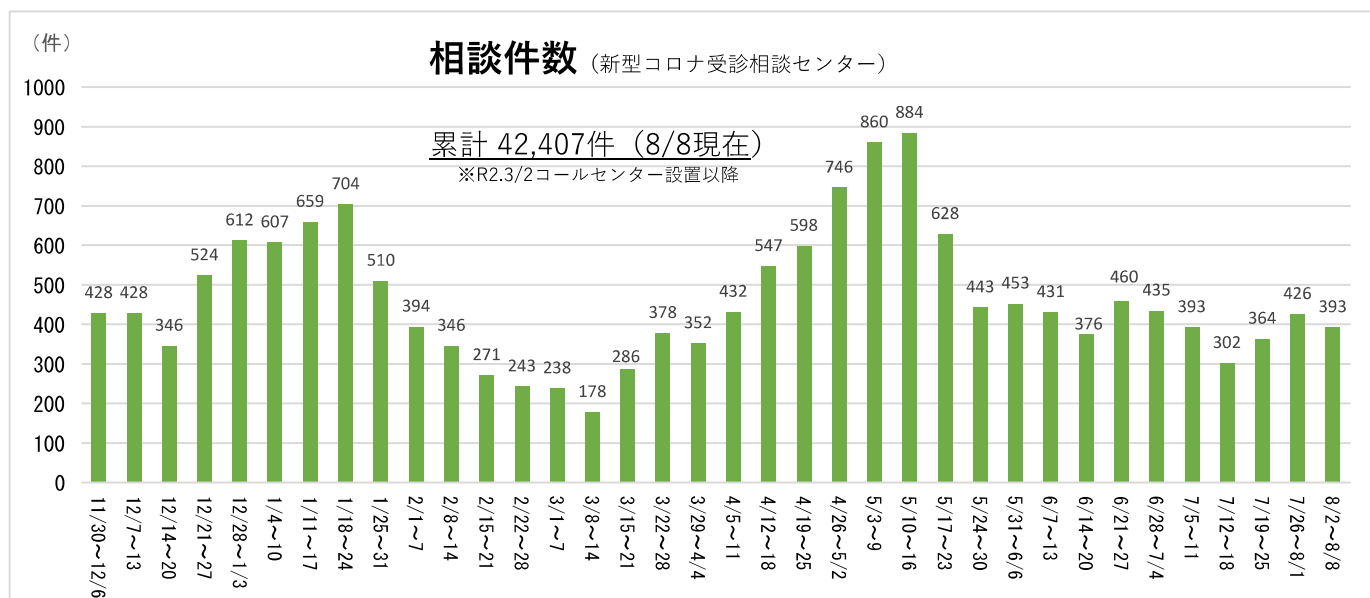
管轄保健所別感染者数の割合

(R3年8月10日現在)

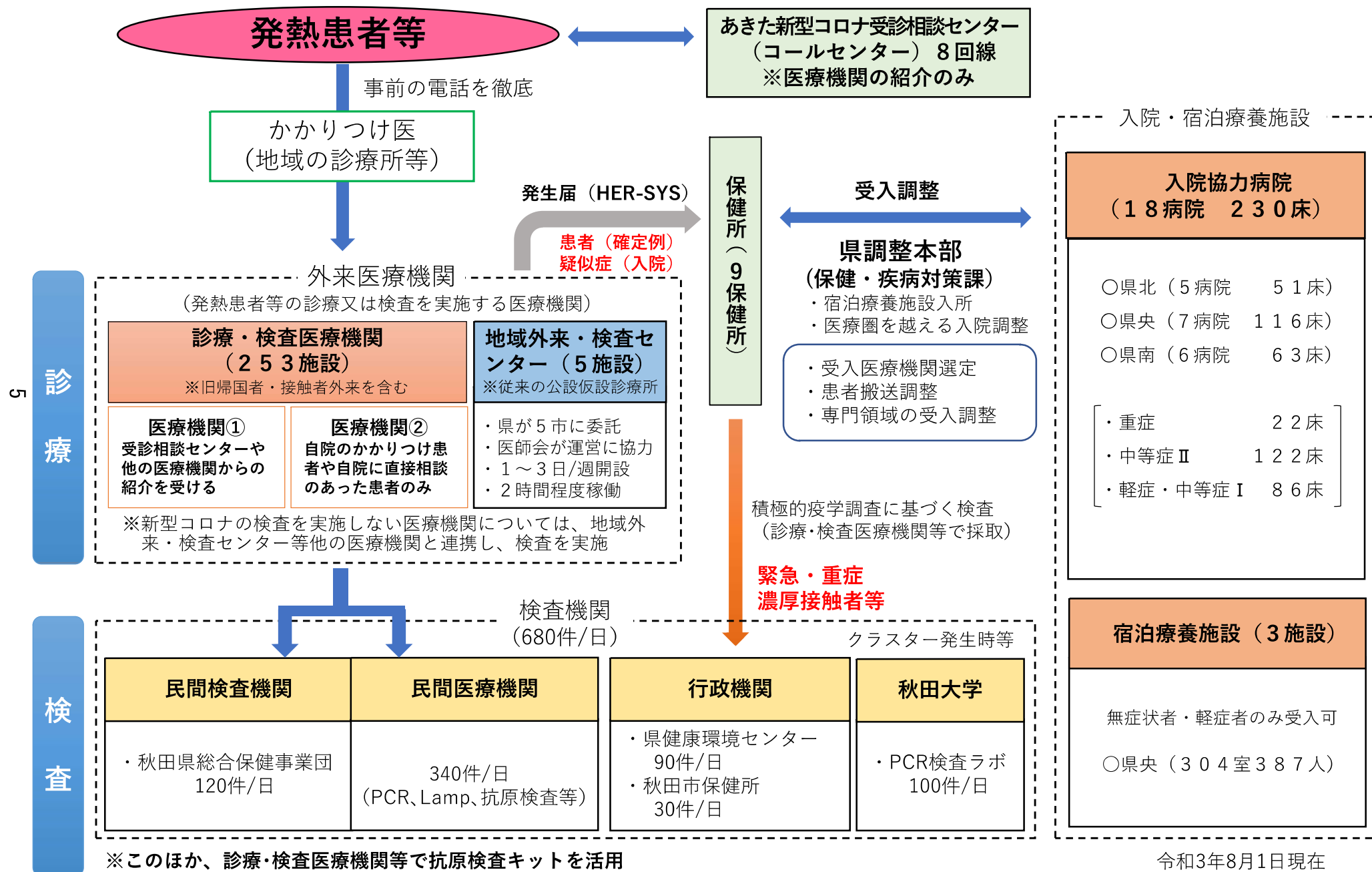




※医療機関における検査件数は、11/16以降の検査から集計を開始。件数は、新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム (G-MIS) から県が集計した件数と、県医師会が集計した件数を合計した数値 (G-MIS集計分は8/1まで、県医師会集計分は6/27までの件数)



秋田県新型コロナウイルス感染症 外来医療・入院医療 全体図



病床確保計画のフェーズの引き上げについて

令和 3 年 8 月 1 1 日
健 康 福 祉 部

現在の確保病床数については、病床・宿泊療養施設確保計画（以下、病床確保計画）のフェーズ 4 を継続しながら、6 月下旬に急速な感染拡大が危惧された秋田周辺地域については、7 月 5 日以降、フェーズ 5 相当の病床数を確保しているところ。

最近の感染状況は、8 月に入ってから県内の幅広い地域で感染者が増加しており、直近 1 週間の新規感染者数が 7 日に週 50 人を超えて増加傾向が続いているほか、現在確保病床数に対する使用率が 8 日に 30%を超えるなど、フェーズ 5 への移行が必要な水準にある。

このような状況から、「秋田県新型コロナウイルス感染症対策協議会」の意見を踏まえ、8 月 1 1 日に、病床確保計画の段階をフェーズ 4 からフェーズ 5 へ引き上げることとした。

○フェーズの引き上げに伴う即応病床数の変更

フェーズ 4（秋田周辺地域はフェーズ 5 相当）

即応病床数 135 床（うち重症者用 13 床）



フェーズ 5（全県域）

即応病床数 184 床（うち重症者用 15 床）

○最近の感染状況等（8 月 1 日～10 日）

	8/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
週当たり新規感染者数（人）	27	28	33	37	38	44	53	66	72	74
総療養者数（人）	41	42	45	47	52	57	71	79	88	81
うち入院患者数（人）	27	27	27	24	28	29	33	41	45	39
現在確保病床数の使用率	20.0%	20.0%	20.0%	17.8%	20.7%	21.5%	24.4%	30.4%	33.3%	28.9%
最大確保想定病床数の使用率	11.7%	11.7%	11.7%	10.4%	12.2%	12.6%	14.3%	17.8%	19.6%	17.0%

※ 病床・宿泊療養施設確保計画（6 月 1 日～）

（床・室）

フェーズ分類		フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4	フェーズ5	フェーズ6
フェーズ 切替基準	新規感染者数	県内感染者 無し	県内感染者 1 名発生	7 人/週	25 人/週	50 人/週	100 人/週
	病床使用率	—	—	フェーズ 2 病床の 30%	フェーズ 3 病床の 30%	フェーズ 4 病床の 30%	フェーズ 5 病床の 30%
病床 確保等 数	即応病床(うち重症)	36(1)	62(6)	82(10)	107(12)	184(15)	230(22)
	宿泊療養居室	304 (387 人)					

感染警戒レベルの引き上げについて

令和 3 年 8 月 11 日

秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部

1. 現在の状況

- ・ 全国的にこれまでにない感染拡大が続く中、県内においても、8 月に入ってから 1 か月ぶりとなる二桁の新規感染者が連続するなど、感染の増加傾向が顕著。
- ・ 県外との往来に起因するとみられる感染例から家族や職場、学校等に感染が広がるケースが多く、クラスターも複数発生している。
- ・ 全国的な感染拡大の大きな要因とされるデルタ株の陽性疑いについて、県内でもスクリーニング検査での割合が急増。今後、急速な感染拡大につながる危険性がある。
- ・ 病床使用率が 30 % を超えたことから、病床・宿泊療養施設確保計画のフェーズを 5 に引き上げ、関係医療機関に病床確保を要請。

2. 県の感染警戒レベルの引き上げ

感染状況と病床・宿泊療養施設確保計画のフェーズ引き上げを踏まえ、県独自の感染警戒レベルを「3」から「4」に引き上げることとし、次の要請を行う。

3. 要請の内容

(1) 県外との往来の自粛

- ① 緊急事態措置区域との往来は、真にやむを得ない場合を除き避けること
- ② ①以外の地域との往来については、仕事、試験、冠婚葬祭等（この場合であっても訪問先の感染状況を踏まえた上で判断）を除き避けること
特に、観光や娯楽（スポーツ観戦、コンサート鑑賞、レジャー施設の利用など）知人等への訪問などでの県外との往来は自粛すること
- ③ 県外からの帰省や県外からの訪問についても、家族・親戚からの適切なアドバイスをすること
やむを得ず来県する場合は、事前の PCR 検査や、来県後の健康観察の徹底など感染防止対策を万全にすること

(2) 感染リスクの回避

- ① お盆を迎えるにあたり、県外からの移動者や普段一緒にいない人との会食、大人数・長時間にわたる会食は避けること
- ② 大人数での集まり（会議、集会、イベント等）の開催や参加は、その必要性・緊急性や代替手段の検討を踏まえ、慎重に判断すること
- ③ 県内であっても、混雑する場所への外出は極力避けること

新型コロナウイルスワクチンの接種について

令和3年8月11日
健康福祉部

1 ワクチンの接種状況について

＜県内の接種実績＞（首相官邸 HP：8月10日公表時点）

	接種回数	うち1回目	うち2回目
一般接種（高齢者含む）	773,989	428,445	345,544
医療従事者等	109,968	57,783	52,185
計	883,957	486,228	397,729

※ 一般接種（高齢者含む）：8月9日までの接種実績。ワクチン接種記録システム（VRS）への報告を居住地の都道府県別に集計。

※ 医療従事者等：医療従事者等向け優先接種は7月21日まで、高齢者施設等従事者向け優先接種は7月30日までの接種実績。ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）への報告（17時時点）を接種実施機関所在地の都道府県別に集計（7月30日時点で集計を終了）。

＜県内65歳以上高齢者の接種実績＞（政府 CIO ポータル：8月10日確認時点）

	接種回数	うち1回目 (接種率)	うち2回目 (接種率)
高齢者 (360,083人)	620,380	317,538 (88.18%)	302,842 (84.10%)

※ 8月9日までの接種実績。ワクチン接種記録システム（VRS）に記録されたデータを基に、内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室が政府 CIO ポータル（ワクチン接種状況ダッシュボード）で公表しているデータ（医療従事者等への接種は含まれていない）。

※ 対象者数は令和2年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口による。

2 職域接種について

＜職域接種の申請・承認状況＞（8月10日時点）

・申請 18団体（接種計画人数：43,500人）

※6月25日時点の21団体から3団体が申請取り下げ

・承認済み 7団体（うち4団体が接種開始済）

3 今後のワクチン供給について

＜ファイザー社製ワクチンの本県への供給状況・予定＞

12歳以上県人口 (接種回数)	供給量 (供給率)	医療従事者等用 (2/15～21) (3/1～5/16)	高齢者用 第1～8クール (4/5～7/4)	一般用	
				第9～12クール (7/5～8/29)	第13～15クール (8/30～10/10)
910,813人 (1,821,626回)	1,450,605回分 (80%)	78,390回分 (71箱)	770,835回分 (674箱)	341,640回分 (292箱)	259,740回分 (222箱)

＜国から都道府県への割当＞

・第13～15クール（8/30～10/10 配送予定）の供給量【基本枠】

＝（12歳以上人口の8割×2回接種量）－（第12クールまでの供給量）

- ・このほか、第14・15クール（9/13～10/10 配送予定）では、全国300万回程度分について、各市町村の接種状況に応じて都道府県が調整して配分できる枠を今後供給予定【調整枠】

＜県から市町村への分配＞

- ・第13クール分は、各市町村の12歳以上人口に応じた配分量をベースに、希望量を確認した上で、接種状況等を勘案して調整を行った。
- ・第14・15クール分は、12歳以上人口の割合や、これまでの供給量を基に、県で「基本計画枠」を設定。希望量を確認した上で必要な調整を行う。
（基本計画枠は、市町村が希望すれば、最低限配分する箱数）

【市町村への分配計画】（箱数）

市 町 村	第13クール (8/30～9/12)	第14クール (9/13～9/26)	第15クール (9/27～10/10)
	[確定]	[基本計画枠]	[基本計画枠]
秋 田 市	24	23	23
能 代 市	4	4	4
横 手 市	6	7	7
大 館 市	0	5	6
男 鹿 市	2	2	2
湯 沢 市	3	4	3
鹿 角 市	2	3	2
由 利 本 荘 市	7	6	5
潟 上 市	4	2	2
大 仙 市	7	6	6
北 秋 田 市	3	2	2
に か ほ 市	3	2	1
仙 北 市	3	2	2
小 坂 町	0	0	0
上 小 阿 仁 村	0	0	0
藤 里 町	1	0	0
三 種 町	1	2	1
八 峰 町	1	0	0
五 城 目 町	1	0	0
八 郎 潟 町	1	0	0
井 川 町	0	0	1
大 潟 村	0	0	0
美 郷 町	0	1	1
羽 後 町	1	1	1
東 成 瀬 村	0	0	0
小 計	74	72	69
県 調 整 分	－	2	5
【 基 本 枠 】	74	74	74
	222 箱		
【 調 整 枠 】	－	未定	未定

※1箱は、1,170回分